

④環境の未来

環境の未来		順調 A	概ね順調 B	遅れ C	見直し D
1. 魅力的で住みやすい生活環境の充実	3	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2. 暮らしを支えるまちの基盤の充実	2	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)
3. いのちの源としての水環境の充実	5	1 (20.0%)	4 (80.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
4. みどりに囲まれた豊かな環境の創造	4	1 (25.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)
5. 豊かな自然を活かした環境学習の仕組みづくり	2	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
6. 環境にやさしい暮らしの仕組みづくり	3	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)
合計	19	2 (10.5%)	14 (73.7%)	3 (15.8%)	0 (0.0%)

- ・ 19の施策の体系のうち16の施策の体系（84.2%）が順調または概ね順調との結果であった。
- ・ 「1. 魅力的で住みやすい生活環境の充実」「2. 暮らしを支えるまちの基盤の充実」において、生活道路や住環境の整備、公共交通の強化への取り組みが進んだ一方で、広域的な幹線道路整備については具体的検討に至らなかった。
- ・ 「4. みどりに囲まれた豊かな環境の創造」「6. 環境にやさしい暮らしの仕組みづくり」において、自然環境の保全や循環型社会の形成に対する住民意識向上の取り組みが求められる。

1. 魅力的で住みやすい生活環境の充実

施策コード	P4101															
評価	施策の体系	施策の方針														
B	①便利で快適な生活環境づくりのための生活道路・公園施設の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の状況に応じた生活道路網の充実を図る ・各地域のニーズに応じた身近な公園づくりを推進する ・便利な案内サインの整備推進 														
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">■主な事業</th> <th>■主な成果</th> </tr> <tr> <td>建設下水道課</td> <td>道路施設の充実（道路新設改良業務）、道路維持管理事業（道路・橋りょう等維持修繕業務）、住民参加による維持管理の推進</td> <td>町民生活における交通環境の改善、地域住民が安心して生活できる道路網の構築、舗装の維持修繕、道路橋りょうの法定近接目視点検並びに点検結果に応じた橋梁の補修・架け替えを行った。</td> </tr> <tr> <td>地域振興課</td> <td>各地区における憩いの空間づくり事業、公共サインの検討及び整備</td> <td>憩いの場づくりについて近年地区からの要望はない。下宮地区のはまどん公園が防災公園として再整備された。</td> </tr> <tr> <th colspan="2">■課題</th> <th>■次年度への展開</th> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>【建設下水道課】農閑期や休校時期に工事発注せざるを得ず、職員や請負業者の負担となっている。</p> <p>【地域振興課】憩いの空間づくり事業の実施地区はなく、整備後の維持管理についても地区と協議が必要。</p> </td> <td> <p>【建設下水道課】発注件数に応じた発注時期の平準化を採用する。</p> <p>【地域振興課】各地区の憩いの空間づくり事業について、地区別計画に基づく実践活動の活用を促す。</p> </td> </tr> </table>		■主な事業		■主な成果	建設下水道課	道路施設の充実（道路新設改良業務）、道路維持管理事業（道路・橋りょう等維持修繕業務）、住民参加による維持管理の推進	町民生活における交通環境の改善、地域住民が安心して生活できる道路網の構築、舗装の維持修繕、道路橋りょうの法定近接目視点検並びに点検結果に応じた橋梁の補修・架け替えを行った。	地域振興課	各地区における憩いの空間づくり事業、公共サインの検討及び整備	憩いの場づくりについて近年地区からの要望はない。下宮地区のはまどん公園が防災公園として再整備された。	■課題		■次年度への展開	<p>【建設下水道課】農閑期や休校時期に工事発注せざるを得ず、職員や請負業者の負担となっている。</p> <p>【地域振興課】憩いの空間づくり事業の実施地区はなく、整備後の維持管理についても地区と協議が必要。</p>	
■主な事業		■主な成果														
建設下水道課	道路施設の充実（道路新設改良業務）、道路維持管理事業（道路・橋りょう等維持修繕業務）、住民参加による維持管理の推進	町民生活における交通環境の改善、地域住民が安心して生活できる道路網の構築、舗装の維持修繕、道路橋りょうの法定近接目視点検並びに点検結果に応じた橋梁の補修・架け替えを行った。														
地域振興課	各地区における憩いの空間づくり事業、公共サインの検討及び整備	憩いの場づくりについて近年地区からの要望はない。下宮地区のはまどん公園が防災公園として再整備された。														
■課題		■次年度への展開														
<p>【建設下水道課】農閑期や休校時期に工事発注せざるを得ず、職員や請負業者の負担となっている。</p> <p>【地域振興課】憩いの空間づくり事業の実施地区はなく、整備後の維持管理についても地区と協議が必要。</p>		<p>【建設下水道課】発注件数に応じた発注時期の平準化を採用する。</p> <p>【地域振興課】各地区の憩いの空間づくり事業について、地区別計画に基づく実践活動の活用を促す。</p>														

施策コード	P4102						
評価	施策の体系	施策の方針					
B	②質の高い住宅・宅地の誘導及び公的住宅の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画に基づく住宅整備事業の推進 ・質の高い住宅・宅地供給を誘導する仕組みづくり 					
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">■主な事業</th> <th>■主な成果</th> </tr> <tr> <td>建設下水道課</td> <td>公営住宅等ストックの長寿命化事業（公営住宅建て替えなどへむけた環境整備の推進）、建築協定による適切な住宅づくり（宅地分譲など）及び住まいの確保</td> <td>公営住宅等長寿命化計画に基づき、公営住宅ストックの長寿命化を実施によるライフサイクルコストの縮減、公営住宅・町有住宅などの事業へ向けた環境整備を行った。</td> </tr> </table>		■主な事業		■主な成果	建設下水道課	公営住宅等ストックの長寿命化事業（公営住宅建て替えなどへむけた環境整備の推進）、建築協定による適切な住宅づくり（宅地分譲など）及び住まいの確保
■主な事業		■主な成果					
建設下水道課	公営住宅等ストックの長寿命化事業（公営住宅建て替えなどへむけた環境整備の推進）、建築協定による適切な住宅づくり（宅地分譲など）及び住まいの確保	公営住宅等長寿命化計画に基づき、公営住宅ストックの長寿命化を実施によるライフサイクルコストの縮減、公営住宅・町有住宅などの事業へ向けた環境整備を行った。					

■課 題	■次年度への展開
耐用年数が大幅に過ぎた公営住宅を用途廃止する場合、集約できる空き部屋が少なく代替住宅確保が困難。	維持管理と用途廃止、新規建設を行いながら目的別に住宅を確保する。 民間賃貸住宅を活用した借り上げ公営住宅や、空き家を活用したセーフティーネット等を活用して住宅ストックを確保していく必要がある。 公営住宅等を用途廃止した場合の土地活用方法について、適切な住宅づくり及び住まいの確保への活用を検討する。

施策コード	P4103	
評 価	施策の体系	施策の方針
B	③移住定住にむけた魅力的な生活環境整備と情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家を活用した住まいの提供 ・移住定住の促進にむけた情報発信やイベントの開催
■主な事業		■主な成果
地域振興課	婚活応援事業、移住総合情報発信ツール制作事業、移住者に対する支援策の創設、地区環境の保全と受け入れ態勢の検討	移住定住に関する動画やHP記事、相談会資料などを必要に応じ更新したほか、移住相談会、移住体験住宅、地域おこし協力隊、空き家バンクなどを実施し、移住定住の促進に向けて取り組みを進めている。
建設下水道課	空き家活用事業	空き家バンク促進補助金により空き家活用を促進。空き家バンク年間登録戸数に効果が表れている。
企画財政課	町の魅力発信事業	公式SNSとして平成30年度にInstagram、令和元年度にLINEを開設。令和2年度にはホームページをリニューアルし、移住定住情報発信サイト「ひかわ暮らし」を開設。月平均のホームページアクセス件数が5年間で3.4倍に増加した。
■課 題		■次年度への展開
<p>【地域振興課】地区環境の保全と受け入れ態勢の検討には地区の協力が不可欠であるが、地区との協議が不足している。</p> <p>【企画財政課】職員視点だけでは町の魅力の効果的な情報発信に限界がある。また、移住定住に関する情報発信が十分できていない。</p>		<p>【地域振興課】事業実施のため詳細部分の検討に取り組む。</p> <p>【企画財政課】SNSに関してはターゲットを絞ることで方向性を明確にし、情報発信全体として町のセールスポイントの発掘・明確化による戦略的な広報に取り組む。</p>

2. 暮らしを支えるまちの基盤の充実

施策コード	P4201	
評価	施策の体系	施策の方針
C	①広い行動範囲で便利に暮らすための幹線道路ネットワークの確立	<ul style="list-style-type: none"> ・広域アクセスのための幹線道路網の強化を進める ・町内の円滑なアクセスのための道路ネットワークを確立する
	<p>■主な事業</p> <p>建設下水道課 新幹線新駅南北アクセス道路整備事業、シンボル道路整備事業、宇城氷川スマートインターチェンジへのアクセス道路整備事業、生活幹線道路ネットワーク計画策定・整備事業</p>	<p>■主な成果</p> <p>役場前幹線道路をシンボル道路と位置付けて複数年計画による整備を実施。令和4年度で進捗は●%となっている。</p>
	■課題	■次年度への展開
	<p>①新幹線新駅南北アクセス道路整備の検討</p> <p>②宇城氷川スマートIC国道443号方面アクセス道路整備の検討</p> <p>③生活幹線道路整備に向け住民ニーズと整備計画の一体化を図る必要あり。</p>	<p>①②については、課題③と合わせて道路整備計画における長期計画道路として一体的に検討する。</p> <p>③地区要望における重要度並びに住民生活への貢献度が高い道路について、氷川町道路整備基本計画に基づき道路整備を実施する。</p>

施策コード	P4202	
評価	施策の体系	施策の方針
B	②交通弱者のニーズに応じた移送サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の社会参加の機会や仕組みを充実させる
	<p>■主な事業</p> <p>総務課 既存のバスサービス整備事業</p> <p>福祉課 交通手段の確保</p>	<p>■主な成果</p> <p>バス事業者に対して、町内を運行する系統における赤字を補てんをすることで、日常生活に必要な交通手段の維持・確保に寄与した。</p> <p>高齢者等福祉タクシー利用料金助成事業として、令和元年度から令和3年度まで3箇年の実証実験を行い、令和4年度以降も事業を継続した。毎年約200名が利用し交通手段の一助となっている。</p>
	■課題	■次年度への展開
	<p>【総務課】バス事業者の経営悪化に伴い町の赤字補てん額も増加傾向にある。</p> <p>【福祉課】タクシー券を受け取るため必ず来庁してもらう必要がある。</p>	<p>【総務課】交通弱者の生活交通を維持・確保するためバス事業者への補助金交付については継続する。なお、各事業者と連携した既存サービスの利用促進による事業者の収益増加を図る必要があり、必要に応じてニーズ、コストに見合った路線・系統の見直しを行う。</p> <p>【福祉課】郵送によるタクシー券交付に取り組む。</p>

3. いのちの源としての水環境の充実

施策コード		P4301	
評価		施策の体系	施策の方針
A		①各家庭、各事業所における「環境にやさしい水の上手な使い方」の啓発	・学校や地域での水環境に関わる学習機会を作る
		■主な事業	■主な成果
町民課	EM発酵液普及・啓発活動事業		環境学習の一環として、人と環境にやさしいEM発酵液を町内全小中学校で活用している。
		■課題	■次年度への展開
		環境学習等でEM発酵液の効果などを啓発しているのは一部に留まっている。	環境学習等における啓発の全校実施に取り組む。

施策コード		P4302	
評価		施策の体系	施策の方針
B		②水の環境を守り、育むための下水道の普及	・生活排水対策事業を推進する ・下水道への加入を促進する
		■主な事業	■主な成果
建設下水道課	下水道処理の広域化推進事業、下水道施設維持・更新業務、生活排水対策事業、加入促進対策事業、水洗便所改造促進事業		下水道事業は平成29年度に面整備が概成、整備から維持管理へ事業が移行している。特に宮原処理区の下水道施設において老朽化が顕著に見受けられ、現在、ストックマネジメント計画に基づき低コストで合理的な維持管理を行っている。
町民課	生活排水対策事業		氷川町浄化槽設置整備事業補助金を活用し、汲み取り槽・単独処理浄化槽から環境負荷の少ない合併浄化槽へ転換を推進した。

■課 題	■次年度への展開
<p>【建設下水道課】順調に推移しており特記なし。</p> <p>【町民課】氷川町浄化槽設置整備事業補助金により合併浄化槽への転換を推進しているが、汲み取り槽・単独処理浄化槽の家庭も多い状況。</p>	<p>【建設下水道課】下水道施設の維持管理を中心に事業展開し、事業会計面も下水道事業の経営安定を目指していく。また、宮原浄化センターの廃止、宮原処理区の八代北部浄化センターへの編入に向け準備を行う。</p> <p>【町民課】広報紙・ホームページ等を活用した氷川町浄化槽設置整備事業補助金の制度周知と、宅内配管工事を補助対象にするなど、補助制度の一部見直しを検討し転換促進につなげる。</p>

施策コード		P4303
評 価	施策の体系	施策の方針
B	③住民の憩いの場としての水路や池、海岸などの水に親しむ身近な水辺づくりの推進	・水辺の環境の保全・改善活動を進める
	■主な事業	
建設下水道課	水辺の公園の維持管理と水に親しむ機会の創出、農集維持管理事業	水辺の憩いの空間として、松本橋公園、浜牟田橋公園などの維持管理を行っている。また、水辺環境の保全のため東陽農業集落排水処理施設圧送放流施設の維持管理業務を行う。
■課 題		■次年度への展開
水辺の公園について、随時対象個所の状況を把握する必要がある。		水辺の公園については、年間の草刈等の回数を増やし更なる適正管理を行う。

施策コード		P4304
評 価	施策の体系	施策の方針
B	④水の流れに沿って、様々な生き物が棲み続けられる水環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・氷川の水に親しむための総合的な環境整備を進める ・川沿いの緑化を推進する ・河川、水路護岸などの多自然化を進める
	■主な事業	
企画財政課	氷川を楽しむための総合的な環境整備の推進、氷川に親しむ学習機会の創出	清流氷川流域対策協議会で、八代市、関係団体と一体となり、年に1回清掃活動や遊歩道の整備を実施。小学生を対象とした体験学習会は、令和2年度以降コロナの影響により開催できていない。
地域振興課	川沿いの緑化支援	行政区活動活性化交付金を活用し、河川沿いの地区における河川環境の改善、河川や用水路沿いの環境維持への取組みを支援した。

建設下水道課	ホテルを守るための河川・水路環境の改善	治水、利水を目的とした水路の改修整備を主としており、多自然化を目的とする取組みについては未実施。
■課 題		■次年度への展開
<p>【企画財政課】清掃活動、体験学習会ともに参加者が少なく、町民の一部の活動に限られている。</p> <p>【地域振興課】氷川河川沿いの利用計画や開発計画に沿った緑化活動を支援すべきだが、緑化支援の方向性がなく、地区の利活用に差がある。</p> <p>【建設下水道課】治水、利水を目的とした水路の整備改修を主としており、多自然化を目的とする取組みについては、事業内容、主管課等も含め見直しが必要。</p>		<p>【企画財政課】継続的な活動となるよう参加者や内容の再考に取り組む。</p> <p>【地域振興課】地区別計画に基づく実践活動や県の補助制度等を活用し、地区内の環境美化活動や花いっぱい運動等で支援する。</p> <p>【建設下水道課】再編された施策の取組方針に沿って事業内容を再検討する。</p>

施策コード	P4305	
評 価	施策の体系	施策の方針
B	⑤氷川流域市町の官・民両面での連携による森林保全・育成、河川・海岸環境整備やクリーンアップ活動の推進	・氷川流域活動組織と官民が連携して河川環境改善活動を進める
■主な事業		■主な成果
企画財政課	氷川流域関係団体と連携した水辺環境づくりの推進	清流氷川流水対策協議会における清掃活動、県への要望などにより環境改善活動を行った。また、小学生を対象とした学習会で年1回水質調査を実施し活動の指標とした。
町民課	水を大切にすることを意識啓発の推進	広報紙・ホームページ等を活用し、限りある水資源への理解を深め、節水を推進するための情報提供・意識啓発を推進した。
■課 題		■次年度への展開
<p>【企画財政課】実施活動について参加者が少なく、町民の一部の活動に限られている。</p> <p>【町民課】継続的な情報提供による意識啓発を進める必要あり。</p>		<p>【企画財政課】継続的な活動となるよう参加者や内容の再考に取り組む。</p> <p>【町民課】広報紙・ホームページ等を活用した情報提供と啓発活動を推進する。</p>

4. みどりに囲まれた豊かな環境の創造

施策コード	P4401	
評価	施策の体系	施策の方針
A	①道路や公共施設、各家庭での緑化推進によるみどりのネットワークづくり	・緑化・花いっぱい運動を支援する制度・体制づくり
■主な事業		■主な成果
地域振興課	花いっぱい運動の推進	行政区活動活性化交付金を財源とし、また、県のくまもと緑・景観共同機構による花いっぱい運動支援事業による種子や苗の支給を活用した花植えの維持・管理が行われ、各地区の花いっぱい運動が推進された。
農地課	多面的機能支払交付金事業【再掲】	事業実施地区が18地区から30地区となり、地区による農用地、水路、農道などの農村環境の保全が図られた。
■課題		■次年度への展開
【地域振興課】未実施地区への取組み啓発が必要。		【地域振興課】未実施地区への地区づくり補助金及びくまもと緑・景観共同機構の花いっぱい運動支援事業を周知し活用を促進する。

施策コード	P4402	
評価	施策の体系	施策の方針
B	②自然と暮らしの接点としての里山の活用、水辺などの公園の維持管理	・里山環境の保全・改善施策を進める ・里山活用の運営体制を確立する
■主な事業		■主な成果
地域振興課	竜北公園周辺における里山活用の推進、立神峡公園における環境学習による里山環境の改善	竜北公園や立神峡里地公園周辺の里山の自然を生かし、イベントや環境学習の実施により地域活性化に繋げてきている。近年は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少している。
■課題		■次年度への展開
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため各種イベント等が中止となり、利用者数が減少。		新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の規制が緩和されたため、利用者の増加に向けて広告周知を実施していく。

施策コード	P4403	
評価	施策の体系	施策の方針
C	③みどりに囲まれた豊かな景観形成のためのルールづくり	・まちづくり条例による景観づくりや助成制度を検討する
■主な事業		■主な成果
地域振興課	景観に関する助成制度の検討、建築協定条例の活用	景観整備計画に基づく景観形成のための店舗や生垣等の改修に対する助成制度や、建築協定条例を活用した民間の土地・建築の景観形成を検討した。
■課題		■次年度への展開
まちづくり条例との整合性が必要。		国県で整備が進められている景観条例とまちづくり条例との調整を行う中で、補助制度としての助成検討並びに建築協定条例の景観ルールづくりを進める。

施策コード	P4404	
評価	施策の体系	施策の方針
B	④自然・産業・暮らしが折り合う、良好な環境づくりを進めるための計画的な土地利用の推進	・土地利用に関する計画に基づく規制誘導方策を確立する
■主な事業		■主な成果
地域振興課	国土利用計画（氷川町）・土地利用計画の運用、まちづくり条例の運用	対象案件は少ないものの、届出があった場合は2週間以内に県へ進達し計画的な土地利用を推進した。
■課題		■次年度への展開
町国土利用計画及び町土地利用計画の運用にあたってはまちづくり条例での誘導が可能となっているが、現在のまちづくり条例の適用区域が宮原地区に限定されているため、竜北地区における誘導が課題となる。		まちづくり条例及び県が勧める景観条例の策定も含めて制度を検討する。

5. 豊かな自然を活かした環境学習の仕組みづくり

施策コード		P4501	
評価		施策の体系	施策の方針
B		①豊かな自然とそこで育まれた歴史・生活文化を活かし、立神峡公園などを拠点とした環境学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点を中心に展開する環境学習のプログラム及び実施体制を充実させる ・ 環境学習活動のフィールドの環境整備を進める ・ 自然豊かな海を未来へ残すための環境学習の推進
		■主な事業	■主な成果
地域振興課	里山暮らしの体験、立神峡公園施設の活用・維持管理		指定管理者において、里山体験学習や環境学習、参加者を募ってのタケノコ掘り体験のほか、感染症の影響によりニーズの増えているキャンプのテント張やキャンプ体験を実施している。
企画財政課	学校や地域での海に関わる学習機会や一斉清掃の実施		八代海北部沿岸都市地域連携創造会議と清流氷川流水対策協議会の共催で、竜北漁協船着場周辺において清掃活動を実施。令和3、4年度においてはコロナ対策として人数を制限して実施した。
		■課題	■次年度への展開
		<p>【地域振興課】指定管理者が主となり実施するため、連携を十分にとる必要がある。</p> <p>【企画財政課】清掃活動に留まっており、環境学習として要素が足りない。また、環境学習会などの体験事業は協議会の事業であるため、町独自での実施は困難。</p>	<p>【地域振興課】立神峡公園を環境学習の場として様々な体験型イベントを通じてPR出来るよう指定管理者と連携する。</p> <p>【企画財政課】清掃活動に環境学習としての企画を盛り込み、水環境保全への意識向上に取り組む。</p>

施策コード		P4502	
評価		施策の体系	施策の方針
B		②環境学習を通じて育まれる自然環境保全の意識を基にした、環境保全活動の家庭や地域、企業ぐるみでの推進（里山や田園環境の保全など）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地域の住民を巻き込んだ環境保全活動を進める
		■主な事業	■主な成果
地域振興課	里山環境インストラクターの養成・発掘		指定管理者により、令和3年度に活用した県補助金の要件である森林インストラクターを活用した環境学習を実施した。
		■課題	■次年度への展開
		実施にむけた森林インストラクター協会及び指定管理者、ツーリズムクラブとの調整。	県派遣の森林インストラクターによる事業実施に続き、環境インストラクターが養成できるよう継続して講習会等の開催を検討する。

6. 環境にやさしい暮らしの仕組みづくり

施策コード	P4601																
評価	施策の体系	施策の方針															
B	①家庭や身近な地域から始まる循環型社会づくりを目指したリサイクルやごみの減量化・分別活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ収集及びリサイクルの仕組みづくりと運営体制の充実を図る ・循環型の地域社会形成のための啓発活動を進める 															
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">■主な事業</th> <th colspan="2">■主な成果</th> </tr> <tr> <td>町民課</td> <td>ごみ収集委託、リサイクル推進事業の拡充、生ごみ活用による排出抑制の検討、資源の再利用の推進、ごみ減量化推進啓発事業、廃棄物の処理・再利用の環境整備、地球環境の保全に向けた普及啓発及び活動の推進、子どもエコ学習・意識啓発</td> <td colspan="2">ごみステーション等に出された一般廃棄物の収集運搬や毎月第3日曜日に町内全地区で22分別リサイクル収集を実施したほか、電気式生ごみ処理機及び生ごみコンポスト容器の購入費補助によるごみ減量化に取り組んだ。また、分別区分早見表を作成、広報等を活用した意識啓発を行った。</td> </tr> <tr> <th colspan="2">■課題</th> <th colspan="2">■次年度への展開</th> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機の保有世帯が少ない状態。 ・地球温暖化防止に向けた全町的な取り組みが必要。 </td> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンを活用したリサイクル収集品目やその分別方法等の検索機能実装に取り組む。 ・生ごみ処理機、生ごみコンポストによるごみ削減効果と購入費補助について周知を図る。 ・ゼロカーボンに向けた具体的な取り組みを周知し、地球温暖化防止の意識啓発を図る。 </td> </tr> </table>		■主な事業		■主な成果		町民課	ごみ収集委託、リサイクル推進事業の拡充、生ごみ活用による排出抑制の検討、資源の再利用の推進、ごみ減量化推進啓発事業、廃棄物の処理・再利用の環境整備、地球環境の保全に向けた普及啓発及び活動の推進、子どもエコ学習・意識啓発	ごみステーション等に出された一般廃棄物の収集運搬や毎月第3日曜日に町内全地区で22分別リサイクル収集を実施したほか、電気式生ごみ処理機及び生ごみコンポスト容器の購入費補助によるごみ減量化に取り組んだ。また、分別区分早見表を作成、広報等を活用した意識啓発を行った。		■課題		■次年度への展開		<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機の保有世帯が少ない状態。 ・地球温暖化防止に向けた全町的な取り組みが必要。 		<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンを活用したリサイクル収集品目やその分別方法等の検索機能実装に取り組む。 ・生ごみ処理機、生ごみコンポストによるごみ削減効果と購入費補助について周知を図る。 ・ゼロカーボンに向けた具体的な取り組みを周知し、地球温暖化防止の意識啓発を図る。
■主な事業		■主な成果															
町民課	ごみ収集委託、リサイクル推進事業の拡充、生ごみ活用による排出抑制の検討、資源の再利用の推進、ごみ減量化推進啓発事業、廃棄物の処理・再利用の環境整備、地球環境の保全に向けた普及啓発及び活動の推進、子どもエコ学習・意識啓発	ごみステーション等に出された一般廃棄物の収集運搬や毎月第3日曜日に町内全地区で22分別リサイクル収集を実施したほか、電気式生ごみ処理機及び生ごみコンポスト容器の購入費補助によるごみ減量化に取り組んだ。また、分別区分早見表を作成、広報等を活用した意識啓発を行った。															
■課題		■次年度への展開															
<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機の保有世帯が少ない状態。 ・地球温暖化防止に向けた全町的な取り組みが必要。 		<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンを活用したリサイクル収集品目やその分別方法等の検索機能実装に取り組む。 ・生ごみ処理機、生ごみコンポストによるごみ削減効果と購入費補助について周知を図る。 ・ゼロカーボンに向けた具体的な取り組みを周知し、地球温暖化防止の意識啓発を図る。 															

施策コード	P4602																
評価	施策の体系	施策の方針															
B	②公共施設や各家庭における太陽光発電などのクリーンエネルギーの活用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンエネルギー活用のPR・啓発活動を進める 															
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">■主な事業</th> <th colspan="2">■主な成果</th> </tr> <tr> <td>町民課</td> <td>クリーンエネルギーの活用・啓発活動の推進</td> <td colspan="2">再生可能エネルギーを活用した施設を導入した者に対し、氷川町住宅用新エネルギー等導入促進事業費補助金により導入費用の一部を補助した。</td> </tr> <tr> <th colspan="2">■課題</th> <th colspan="2">■次年度への展開</th> </tr> <tr> <td colspan="2">クリーンエネルギーの活用や省エネによる地球環境への負荷軽減等の情報提供や意識啓発が進んでいない。</td> <td colspan="2">広報紙やホームページ等による氷川町住宅用新エネルギー等導入促進事業費補助金、またゼロカーボンに向けた具体的な取り組みを周知し、クリーンエネルギーの活用や省エネ活動の推進を図る。</td> </tr> </table>		■主な事業		■主な成果		町民課	クリーンエネルギーの活用・啓発活動の推進	再生可能エネルギーを活用した施設を導入した者に対し、氷川町住宅用新エネルギー等導入促進事業費補助金により導入費用の一部を補助した。		■課題		■次年度への展開		クリーンエネルギーの活用や省エネによる地球環境への負荷軽減等の情報提供や意識啓発が進んでいない。		広報紙やホームページ等による氷川町住宅用新エネルギー等導入促進事業費補助金、またゼロカーボンに向けた具体的な取り組みを周知し、クリーンエネルギーの活用や省エネ活動の推進を図る。
■主な事業		■主な成果															
町民課	クリーンエネルギーの活用・啓発活動の推進	再生可能エネルギーを活用した施設を導入した者に対し、氷川町住宅用新エネルギー等導入促進事業費補助金により導入費用の一部を補助した。															
■課題		■次年度への展開															
クリーンエネルギーの活用や省エネによる地球環境への負荷軽減等の情報提供や意識啓発が進んでいない。		広報紙やホームページ等による氷川町住宅用新エネルギー等導入促進事業費補助金、またゼロカーボンに向けた具体的な取り組みを周知し、クリーンエネルギーの活用や省エネ活動の推進を図る。															

施策コード	P4603	
評価	施策の体系	施策の方針
C	③不法投棄の防止、環境美化活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域での環境美化活動の支援を進める ・不法投棄防止施策及び体制の強化を図る
■主な事業		■主な成果
町民課	環境美化一斉行動の実施、環境への意識改革、マナーの周知・広報、不法投棄防止事業	全町民を対象としたボランティア清掃や保健衛生委員と連携した廃棄物の適正処理とごみの分別やマナーの周知に取り組んだ。また、廃棄物監視員と連携した不法投棄パトロールによる不法投棄物の早期発見及び不法投棄者への指導を行った。
■課題		■次年度への展開
<ul style="list-style-type: none"> ・清掃の参加者が固定化しているため参加率が伸びない。 ・不法投棄者の特定が出来ず、直接指導が出来ないものが多い。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体と連携を図り清掃活動の参加者増加に向けた取組みを検討・実施。防災無線やホームページ等を活用した事前周知による参加率の向上に取り組む。 ・効果的な不法投棄パトロールの実施と不法投棄者を特定するための目撃情報の収集に努める。